

\*麻生：全国的にみられ、植物の麻にちなむとする説や、川の両岸の急な谷間にもあるところから、崖を意味する「アズ・アス」の転訛した地形地名とする説など。

### 隠れ谷公園（かくれやと）

開発以前のこの地域一帯は、谷の多い起伏に富んだ地形で、谷の名称を公園名にして残したもの。軍勢を隠したからとか。

### 九郎明神社

古沢地区の天神社、熊野神社、稲荷社を合祀、菅原道真、伊弉那岐命（いざなぎのみこと）を祀る。元々は、麻生川流域は源義経の家臣のふるさとでここに社を建て義経を祭神として祀っていたことによる。

\*古沢（ふるさわ）：水にめぐまれた土地で、早くから水田が開け小村ながらまとまりのある集落のようだった。貞享3年平尾村（稲城）が入会地に境界をたて、境界論争が起こるが、半年後、幕府裁許により平尾、五力田、古沢の境界が定まる。この時、平尾、五力田の境にあった入定塚や供養塚が線引きに利用された。

### 入定塚

直径約20m、高さ約3.5mの円墳状の塚。発見された1枚の板碑には「天文五年丙申八月十五日長信法印入定上人」という刻銘が確認され、室町時代末期の天文5年(1536)に長信という僧侶が、塚の中に入って経文を唱えながら入定したということが判明。

### 十三塚

境界線上に東西方向に一直線に並んでおり、13基のうち中央の塚が他に比べて若干高い。中世における供養塚の性格が強い。

### 杉山神社

関東地方に72社ある杉山神社のうちの一社。御神体は日本武尊と弟橘姫。本殿の建築は棟札の記述により延宝4年(1676)造営と考えられ、江戸時代前期の貴重な建築物である。

### 稲城ふれあいの森「小田良の里」

西小田良の谷戸に設けられたキャンプ村である。この土地の持ち主が無償で提供しているとのこと。残念ながら公開日は限定されている。